



## 従業員一人ひとりの能力を最大限発揮できる人材育成

### ／ 体験・体感を大切にした製造系研修プログラム

製造系新入社員向け体系的研修として、技術伝承や、安全かつ生産性が高い製造現場の運営ができる人材の育成を目指し、2015年度に高岡工場で「日曹高岡アカデミー」をスタートしました。国内全グループの新入社員を中心に、研修を行っています。

研修の特徴は体験と体感。安全性を担保したうえで、高所からの落下や、不適当なボルト締めによる水やガスの漏れなど、机上では得られない体感教育を行います。現場のOJT (On the Job Training) では許されない危険や失敗を、身をもって感じられる貴重な経験は、受講後に作業の正確性や安全意識の向上に表れ、日々の業務に活かされています。

2019年度から、2カ年計画で教育施設および安全体感装置の拡充を図り、2021年4月に「日曹技能研修センター」を開設しました。さらなる安全態度向上のため、製造系新入社員以外にも広い階層への安全体感教育を実施し、人材育成に取り組んでいきます。

### ／ 多様な人材の活躍が競争力の源泉

日本曹達では、多様な価値観を持った人材こそがイノベーションを生み出し、グローバルな競争力を向上させる礎と考え、ダイバーシティ推進を重要な経営戦略として位置づけています。この取り組みとして、多彩な人材を活かす人事諸制度への転換、風土の改善などの基盤構築を行い、性別や国籍・年齢などに関係なく意欲と能力のある人材が生き生きと働き、持続的に成長・発展できる会社を目指しています。今後は、次世代を担う人材育成の強化が非常に重要な課題であり、サクセッション・プランなど、中長期的な育成体系の整備を推進していきます。日本曹達の次世代を見据え、多様な人材力を最大限に活用していけるよう、過去の成功体験にとらわれることなく多様な価値観を持った従業員が互いに切磋琢磨することができる仕組み・環境や、付加価値の高い働き方への転換を図っていきます。また、新卒・キャリア採用ともに強化を図っており、従業員による説明会や先輩社員を交えた勉強会など、多くの方に興味を持っていただけるよう取り組みを進めています。今後も、従業員一人ひとりが働きがいを感じながら、活躍し続けられる職場環境づくり、人材育成に取り組んでいきます。

### ／ 新卒採用活動の強化

日本曹達の次世代を見据え、過去の経験にとらわれることなく多様な価値観を持った従業員が切磋琢磨し合える環境を築くため、採用活動の強化を図っています。新卒採用では、当社ウェブサイトにおける女性社員紹介やオンライン説明会などにおいて、丁寧な質疑応答を心がけることで、性別・国籍にかかわらず、多くの方に当社への理解を深めていただけるよう取り組みを行っています。採用サイトでは、“世界に「そーだ！」があるかぎり”というキャッチフレーズのもと、事業が社会にどのような価値を提供し、貢献しているかを紹介するほか、各事業で活躍する従業員の生の声も多数掲載し、事業に共感し会社とともに成長していきたいと思う人材の採用に向け、メッセージを発信しています。



## 次世代を見据えた取り組み

## マテリアリティ

## 次世代を担える人材育成

- ・安全性を未来に継承できる教育システム

## KPI

## ① 育成状況

日本曹達では、従業員が心身ともに健康な生活を送れるよう、健康管理・増進に関するさまざまな施策を展開しています。

製造系研修プログラムの取り組み

2020年度は新型コロナウイルス感染防止のため、中止しましたが、例年は以下の取り組みを実施しています。

## ■ 2019年5月実績

参加人数：33名

(日本曹達(株)(二本木工場、高岡工場、水島工場、千葉工場)、上越日曹ケミカル(株)、ニッソーファイン(株)(磯原工場、磯原工場いわき製造部)、日曹金属化学(株)(会津工場)、日曹建設(株))

## 主な研修テーマ

- ・安全教育：酸欠特別教育、4つの安全サイクルの具体的方法、スチーム取り扱い教育、フォークリフト教育、有機溶剤取り扱い教育、静電気による溶剤の燃焼爆発体験教育、被液体験教育
- ・保全・計装教育：機械保全教育、EFD(エンジニアリングフロー図)の読み方、電気教育、計装・計量教育、電動工具取り扱い教育
- ・現場作業教育：工具・器具の正しい使用方法、フランジの取り付け・取り外し、配管気密テスト、配管組立・取り外し
- ・外部教育：空気呼吸器取り扱い講習、安全体感教育(高所危険体感、玉掛け他危険体感、回転体危険体感、電気危険体感)

## 開講趣旨

基本知識の習得と機械に関する基礎構造を学ぶことで安全への認識を深めることを目的に開講。

